

# 会議議事録

事業名	職業実践専門課程 教育課程編成委員会
学校名	国際調理製菓専門学校

会議名	平成29年度(2017年度)第1回 教育課程編成委員会議
開催日時	平成29年12月15日(金) PM5:00~PM6:00
場所	国際調理製菓専門学校 パティシエ館ブラン
出席者	① 教育課程編成委員会  【調理師専門有識者】 全日本司厨士協会関東総合地方本部新潟県支部会長 肥田野尚之  【製菓衛生師専門課程有識者】 新潟県菓子工業組合 専務理事 蒲沢 百合子  【栄養士専門課程有識者】 新潟県栄養士会 会長 入山 八江  【シェフ学科編成委員】 (株)シルバーホテル 総料理長 森本 節生  【健康調理学科編成委員】 (株)日本フードリンク 代表取締役 後藤 孝之  【カフェ学科編成委員】 (株)エフエムアイ 荒井 渉  【パティシエ学科編成委員】 (株)山重 山崎 英治  【国際調理製菓専門学校 教育課程編成委員】 学校長 石田 道子 教務部長・栄養士学科長 竹内 正明 シェフ学科長 鈴木 勉 健康調理学科長 本間 一彰 パティシエ学科長 星野 香 管理栄養士 鷺頭 哲男  【欠席】  【栄養士学科編成委員】 日清医療食品(株) 中部支店管理部 受託管理企画課 池田 志野  以上 出席者：14名 欠席者：1名

① 学校長挨拶 : 学校長

4つの教育特徴である「食材教育」「実践教育」「国際教育」「人間性教育」を柱に教育活動を行っている。その中においても企業の方々との連携が必要となる実践教育においてはインターンシップ等で学生の指導をお願いすることになるため、業界の未来に希望を持てるような手厚い指導をお願いしたい。

② 教育課程編成委員の紹介 : 学校長

各委員が自己紹介を行う

③ 平成28年度 就職状況報告

平成29年度 教育活動報告(経過報告) : 岡部

別紙: 国際調理製菓専門学校

平成29年度教育活動一覧、就職内容実績報告2017

を使用しながら説明

就職に関しては資料を参照しながら各学科の就職先の内訳、県内外の就職率の割合等も含めて詳細に説明した。

教育活動に関しては本会議までに実施された平成29年度の行事を説明するとともに今後のスケジュールに関して説明を行う。

④ 栄養士学科の紹介 : 竹内

別紙: 栄養士学科についての配布資料にて説明

昨年度の春に入学した1期生が就職活動を継続している。学生の就職活動の傾向としては学校や病院、給食事業会社への就職が主たる就職先になってはいるが、栄養士としての可能性を感じつつ、エステやカフェへの就職を実現した学生もいる。学園祭に向けて学習内容を明確に発表できるように指導を継続していく。

⑤ 教育課程編成委員からの意見聴取

コンクールへの取り組み方: シェフ学科編成委員 森本節生氏

昨年度の調理技術コンクール上位3名(西洋料理1名、日本料理2名)を目標に今年もさらなる成果を期待したい。もし今後もアドバイスが必要であるならば協力していきたい。

早期離職対策: 調理師専門課程有識者: 肥田野尚之氏

調理業界はどうしても離職する若者が多いため、慢性的な人手不足になっていることは否めない。今後は現場でも若者と積極的にコミュニケーションを取りながら離職を防ぐとともに、夢をもって働いていけるような職場環境を構築していきたい。

実践教育への期待: 栄養士学科編成委員 入山八江氏

栄養士が必要とされるような病院や学校では調理師とのコミュニケーションなど職場環境への適応能力が必要とされる。国際調理製菓専門学校は実践教育の下、インターンシップで早期に職場環境を理解してもらい、いち早く即戦力になれるように今後も指導してほしい。

挨拶・礼儀について現場からの要望：健康調理学科編成委員 後藤孝之氏  
給食事業会社は配属先でのコミュニケーションが重要になるため様々な  
事柄に興味を持ち周囲と会話をしていく能力が必要とされる。

人材不足について：カフェ学科編成委員 荒井渉氏

バリスタという仕事一般社会で根付いてきており、急速に求人が必要となっ  
てきている。今後は人材不足も懸念されるため国際調理製菓専門学校において  
一人でも多くのバリスタを育ててほしいと考える。

海外留学生について：パティシエ学科編成委員 山崎英治氏

(株)山重が提携している台湾の会社で日本の製パン技術に興味を持っている  
企業がある。今後は国際調理製菓専門学校の施設を見学させてほしい。

以 上